

広報

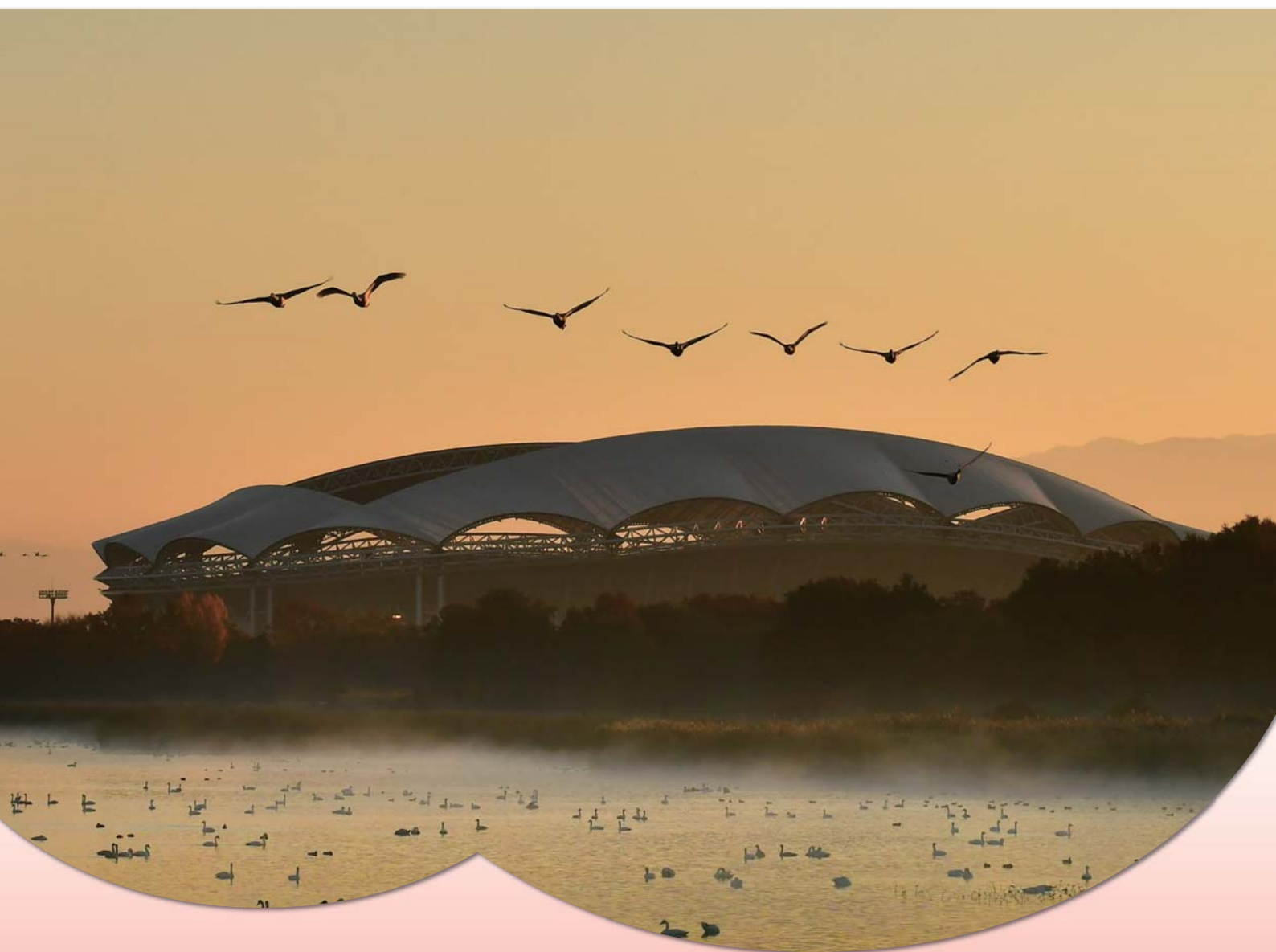
ふれあい

医療法人健周会 東新潟病院 介護医療院 葉の郷 介護老人保健施設 陽光園

〒950-0923 新潟市中央区姥ヶ山274番地1

☎ 025-286-8811

<http://www.higashi-niigata-hp.or.jp>



「暁の舞」(新潟市中央区／鳥屋野潟)

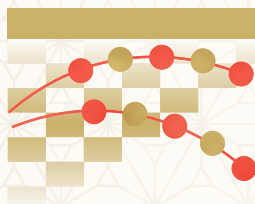
写真提供：新潟市観光フォトライブラリー

第118号

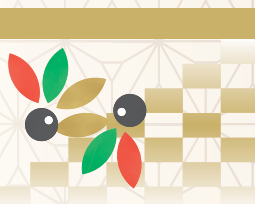
令和7年2月
発行

目次

年頭所感	2～3頁
地域医療連携センターより	4頁
リハビリテーション科より	5頁
行事食	6～7頁
物忘れ外来を開設しました	8頁
診療時間	8頁
新入職員紹介	8頁



年頭所感



医療法人健周会 理事長

片柳 憲雄

明けましておめでとうございます。2025年の新年に当たりまして、ご挨拶させていただきます。

今年は大きな災害もなく、大雪にも見舞われず良い正月でした。

健周会では職員の皆さんが電子カルテの操作に慣れ、効率的に医療・看護・介護等の仕事ができ、患者サービスの向上につながっています。今年中に医療安全、患者確認のためにリストバンドを導入したいと思っています。

経営面では年末患者数が減少し心配でしたが、診療報酬改定による加算の取得などにより今年度は医業利益でも黒字にできそうな予想です。少子・超高齢社会の波は新潟市も同じであり、病院の生き残りのために職員の充足に努めています。今年も利用率96%である病院・葉の郷での入院260人、陽光園での入所92人を目指し、本体の医業利益で黒字を継続したいと思っています。これからも高齢者に対して切れ目のない医療と介護を提供し、地域住民から信頼される健周会を目指していますので、職員の皆様の協力をお願いします。

昨年は韓国では戒厳令を出した伊大統領が弾劾され、アメリカではトランプが圧勝し返り咲きました。世界の政治・経済、ウクライナ・パレスチナ状況が心配です。明るいところでは、大谷翔平が移籍したドジャースがヤンキースを破り世界一となり、大谷自身はメジャー史上初の50-50(50本塁打50盗塁)を達成し指名打者として初のナ・リーグMVPに選ばれました。

日本では自公が少数与党になりましたので政治改革が進むことを期待します。将棋界では藤井総太が叡王戦で伊藤匠七段相手に初失冠しましたが、その後のタイトル戦を全て制し七冠を維持しています。アルビレックスはJリーグルヴァンカップで準優勝しましたが、J1では最終戦でやっとの残留でした。

ただ今COVID-19とインフルエンザが同時流行していますのでこれまで通り感染対策をきちんと行っていただきます。

2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」で努力を重ね物事を安定させる年だそうです。2025年が皆様にとりましても健周会にとっても安定した年になりますことを祈念いたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



— 2025年の東新潟病院 —



東新潟病院 院長

須田 武保

新年明けましておめでとうございます。

山間部では比較的雪にも恵まれ、新潟県では平穏な正月を迎えることができました。今年の干支は「乙巳（きのと・み）」で、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になると言われています。病院が巳（へび）のように脱皮しながら、より新しい医療改革に向かっていくことを願っています。

さて日本社会が直面している少子・高齢化は、医療分野でも重要な問題です。出生数は、1983年270万人、2003年112万人、2023年73万人と著名に減少し、職場に必要な担い手確保が難しくなっています。一方今年は、1947年からのベビーブームに生まれたいわゆる「団塊の世代」が全員75歳以上になり、およそ5人に1人が後期高齢者になります。その結果、医療・介護の費用は増大するのにその担い手は減少するという、医療

経済学的に深刻な状況に陥ると予想され、「2025年問題」といわれています。

この解決法の一つとしてDXの活用があげられ、DX(Digital transformation)とは、デジタル技術によって社会や生活などの形を変えることを指します。国の「医療DX令和ビジョン2030」は、単なる医療情報デジタル化を超えて、電子カルテなどの情報を活用した新たな医療のアプローチを目指しています。今年は医療DXが進化し、医療施設間の情報共有や薬局や介護施設との連携に役立つと予想されます。当院ではDXに必要とされるクラウド型電子カルテを既に導入しており、こうした変化に十分対応可能です。

病院は、常に医師・看護師などの有資格者による質の高い医療の提供が求められています。当院も公益性の高い医療を提供し、真の多職種連携が実践できる病院を展望しなければなりません。そのために最低限、各職種定員以上の担い手確保は、病院の根幹に関わる問題ですので、今年の最重要課題としていきます。

最後に当院は、地域の慢性期病院としての役割を分担することで、急性期、回復期の病院と共に地域全体の医療を支え、看取りを含めたQOL重視の医療を職員一丸となって進めていきます。今年度もご協力お願いいたします。



栗の郷 院長
小池 亮子

明けましておめでとうございます。介護医療院栗の郷では、継続的な医療と介護を必要とする高齢者の皆様が、安心して過ごせる生活の場としての機能を有する施設として、令和2年4月に開設され、5年となります。

栗の郷では入院している皆様に、質の高いケアを提供していくために、科学的介護情報システム(LIFE)を導入しています。LIFEは利用者の状態やケア内容などに関する情報を収集して、蓄積した全国のデータに基づいてフィードバックを受けるシステムですが、昨年よりLIFEで得られたデータを、利用者さんの個別支援計画の

改善に活用して、より良いケアが提供できるように努めています。

介護医療院は、「利用者の尊厳の保持」と「自立支援」が理念に掲げられ、また「地域に貢献し地域に開かれた交流施設」としての役割を担うことが期待されています。コロナ禍では、地域との交流が叶いませんでしたが、今後の感染状況を見極めながら、可能な範囲で地域との交流にも努めていきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



— 陽光園における看取り対応について —



陽光園 院長
津田 隆志

明けましておめでとうございます。陽光園では、老健の使命である在宅復帰・在宅療養支援を更に進める為、今年も「加算型」から「在宅強化型」への移行を目指して取り組みを進めます。

ところで一昨年まで、陽光園では看取りは行わず、東新潟病院へ紹介しておりました。昨年の介護報酬改定で、全国の老健での看取り対応の実績を踏まえて、「ターミナルケア加算」の見直しが行われ、国が老健での看取りを後押しする方針が示されました。実際、陽光園で長く生活された入所者が、慣れた環境・スタッフの元を離れて、病院で最期を迎える事に違和感を抱いておりました。昨年の改定を機会に、園内で看取りに関する学習を重ね、「陽光園での看取りに関する手引き」を作成しました。入所者、ご家族のご意向を出来るだけ尊重しながら、支援計画を策定し提供する事を確認しました。昨年度は2名の老衰で衰弱された入所者に、看取りを実施させていただきました。ご家族からは、「おばあちゃん穏やかな顔をしている、ここで看取ってもらって良かった」とのお言葉を頂きました。



地域医療連携センターより

マイナンバーカードの健康保険証利用がはじまりました！

2024年12月2日～紙の保険証等は発行されなくなり、マイナンバーカードの健康保険証等の利用がはじまりました。お手元の紙の保険証で有効期間が記入されているものは、有効期間終了まで使用することができます。マイナンバーカードを健康保険証として登録されていない場合は、健康保険証の有効期間終了前に加入している医療保険者から“資格確認書”が交付されます。原則、申請不要です。

ここでは、マイナンバーカードを健康保険証として登録する場合の方法について紹介します。

1. 顔認証付きカードリーダーからの申請

医療機関や薬局のカードリーダーから申請し登録ができます。

※当院にもカードリーダーを設置しているため登録可能です。

顔認証または利用証明用パスワード（4桁）の入力が必要です。



2. マイナポータルからの申請

パソコンやスマートフォンから、マイナポータルにログインし登録ができます。

3. セブン銀行ATMからの申請

保険証登録には、マイナンバーカードと利用証明用パスワード（4桁）が必要です。

上記の登録方法で、マイナンバーカードを保険証として紐づけすることが可能です。

なお、マイナンバーカードをお持ちでない方はマイナンバーカードの作成が必要です。パソコンやスマートフォンから、オンライン申請・郵便による申請・街なかの証明写真機から作成の申請が可能です。



参照：厚生労働省ホームページ

介護者教室を開催しました！



2024.10/10、10/23 葉の郷ケアマネジャーが中心となり、介護者教室を開催しました。

1回目は栄養科から「高齢者のための栄養管理」の講義、2回目はリハビリ科から「身体を動かし心も体もリフレッシュ」ということで簡単な体力測定と体操を行いました。

今後も、介護者の健康づくりや交流会などを目的に開催を予定しています。

リハビリ テーション科 より

陽光園リハビリ通信

今回は陽光園リハビリテーション科の取り組みについてご紹介させていただきます。
現在、陽光園リハビリテーション科は6名のスタッフで入所者のリハビリにあたらせて頂いています。

陽光園リハでは、一般的なりハビリのみでなく、生活の場として入所者の楽しみとなるような活動もあわせて提供できるよう心掛けています。最近では、陽光園作品展に向けて一緒に作品作りをしたり、おしゃれがお好きな入所者とはお手伝いしながらネイルを楽しんだり、気候の良い時期には散歩や花壇の手入れ・水やり等行っています。又、ご自宅に戻られる予定の方等には、退所後の生活に向けてお買い物の練習に行き、商品を選んだりセルフレジの操作練習なども行っています。

入所者の、『できた!』『楽しかった!』の笑顔が、私たちスタッフの励みにもなっています。これからも、入所者の園生活に楽しみや張りあいを持てるような活動を提供していけたらと考えています。



「学会発表を経験して」

2024年10月26日(土)、長岡市シティホールプラザオーレ長岡にて第30回新潟県理学療法学術大会が開催されました。リハビリテーション科から理学療法士1名が発表しましたのでご紹介致します。



演題:介護老人保健施設からの在宅復帰に影響を与える要因 ～活動意欲に着目して～

発表者: 郷津 良太

感想

介護老人保健施設とは、厚生労働省より「リハビリを通じた在宅復帰を支援する施設」と位置付けられており、我々リハビリスタッフは日々入所者のADL改善に取り組んでいます。

これまで、在宅復帰に関する先行研究は様々報告されていますが、「活動意欲」に着目した研究は見つけられませんでした。私は、現場で日々働いている中で、意欲的な入所者ほど在宅復帰していることが多いように感じていました。そこで、自宅等へ在宅復帰された入所者と施設や病院などへ退所された入所者で、何が違うのか調査してみました。

その結果、当園において在宅復帰に強く影響を与えている要因として「要介護度」「ADL能力」「入所目的」に加えて「意欲」も抽出されました。今回の結果から、身体機能や認知機能に着目したりリハビリだけでなく、「意欲」などにも着目したりリハビリの重要性が示唆されました。

発表を通じて、日々の業務が入所者のQOLや在宅復帰にどのように影響するのか改めて考える機会となりました。また、同業者との交流を通じて多くの刺激を受け、自身の知見を深める貴重な経験となりました。今回の学びを今後の臨床に活かしていきたいと思います。

行事食提供のご報告



11月21日 昼食 寿司



11月にお寿司を提供しました♪握り寿司以外にも、ちらし寿司、刺身定食など、形態や嗜好に合わせ、華やかな見た目に仕上がりました★
この日はいつも以上に患者様・入所者様の笑顔が見られ、普段と違った食事を十分に楽しんでいただきました！



年末年始のご紹介



12月31日 昼食 年越しそば



1月1日 昼食 あんこ餅・雑煮汁



1月1日 夕食 おせち盛り合わせ



1月2日 昼食 赤飯・天ぷら



年末年始はバラエティーに富んだメニューを提供しました。1月1日の昼食にはお餅に見立てた餅風ムースをあんこや雑煮汁と一緒に召し上がっていただきました♪その他にも、おせちや赤飯、天ぷらも見栄えが華やかで、患者様・入所者様から好評の声をたくさんいただきました♪

葉の郷 栄養科より



秋のおやつ



秋の花の練りきりは上品な甘さで見た目も美しく、目からも楽しんでいただきました✿
ムース・ミキサー食の方には桜餅のムースに抹茶ソースをかけました！

あんことみたらしを
お餅風ムースに
かけてお団子風に！
お茶も一緒に
ちょっと一息♪



柿を食形態に合わせて細かく刻んだり、ミキサーにかけて提供しました！
秋を感じるフルーツに大変喜んでいただきました！



ティラミスケーキに粉糖をかけ、雪が降り積もる様子を表現しました✿
クリスマスらしいケーキに喜んでいただきました！



冬のおやつ



手作りのマロンのババロアにホイップを乗せて秋の味覚を堪能していただきました☆
マロンの甘みが口いっぱいに広がりました！



クリスマスでは、プリンにホイップとソースをデコレーションし、ケーキのような可愛い見た目に変身させました♪
ドリンクはぶどうジュースで乾杯♪

陽光園 栄養科より

祝

敬老のおやつ



長寿の証である亀を模したケーキを作りました！
それぞれお顔が違うため、表情の違いにも注目です！
ムース・ミキサー食の方にはプリンにイラストを描き、見た目でも楽しんでいただきました♪



秋のおやつ



お祭りといえば屋台！屋台といえばたこ焼き！
秋祭りではふんわり軟らかいたこ焼きと、見た目も可愛い華シュウマイを提供し、お祭り気分を楽しんでいただきました！



クリスマスのおやつ



クリスマスはチョコレートケーキとシャンメリーで乾杯！
特別なおやつはとても好評でした！



秋の味覚さつまいも！
こんがりキツネ色に揚ったお芋に、黄金色の蜜をかけて手作りの大学芋を提供しました！





物忘れ外来を開設しました

高齢者人口の増加に伴って、認知症を患う患者さんも増えています。認知症の主な症状の一つは物忘れですが、物忘れには正常老化によるものと、病的な、認知症の初期段階のものがあり、両者を鑑別することが重要です。認知症の代表的な疾患はアルツハイマー型認知症ですが、その他の認知症疾患として、脳血管性認知症やレビー小体病、前頭側頭型認知症などがあり、それぞれで対応や治療が異なります。また脳炎や正常圧水頭症、時に内科的な疾患に基づく認知機能低下などの、治療が可能な疾患もありますので、早期に診断することが大切です。また、最近アルツハイマー型認知症でも、早期に診断することで、進行速度を遅らせることができる薬も発売されました。物忘れ外来では、ご本人、あるいはご家族で気になっている物忘れが、病的なものかどうかを診断いたします。お気軽に受診してください。

外来診療担当医

- 土曜日・日曜日・祝日は休診となります。
- 保険証は必ず、毎月窓口へ提出してください。

	受付時間 (診療時間)	月	火	水	木	金
内 科	8:30~11:30 (9:00~12:00) ☆要予約	白 石	平澤(新患)	寺 田	高井(新患)	寺 田
外 科		齋藤(新患)	須 田	秋山(新患)	片 柳	
肛門外科			須 田			
泌尿器科			入 倉			入 倉
脳神経内科		小 池 (もの忘れ外来)		小 池		小 山
皮 膚 科					土 田	
内視鏡(検査)				秋 山		
歯 科	8:30~11:30 (9:00~12:00)	清 水	清 水	清 水	清 水	清 水
		大 塚	大 塚	大 塚	大 塚	大 塚
	13:15~16:30 (13:30~17:00)	清 水	清 水	清 水	清 水	清 水
		大 塚	大 塚	大 塚	大 塚	大 塚

新入職員紹介 (50音順)

■ 2024年9月1日から12月31日までに入職された方々

- 石 倉 恵 (介護職員)
- 水 野 真由美 (介護福祉士)
- 佐久間 なおみ (看護師)
- 宮 腰 鈴 佳 (看護師)
- 佐 藤 夏 奈 (歯科衛生士)
- 宗 村 結 衣 (看護師)
- 星 和 美 (介護福祉士)
- 安 永 涼 子 (看護師)

